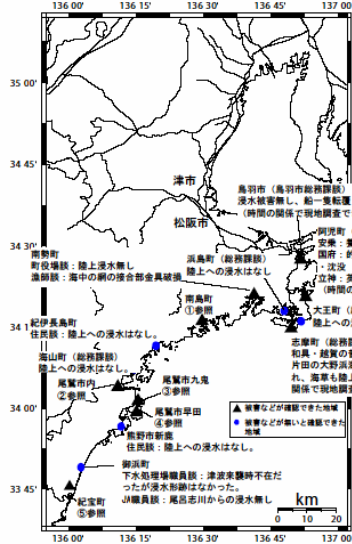


[講演要旨] 2004年9月5日紀伊半島南東沖地震による三重県の地震, および津波被害 —海岸調査, および新聞記事の収集調査結果—

行谷佑一・都司嘉宣・伊藤純一 (東大地震研) ・高橋智幸・今井健太郎・富岡展行 (秋田大工学資源学部)

(1) 津波現地調査



津波発生翌日(9月6日)から8日にかけて、三重県南部熊野灘沿岸を中心に現地を訪れた。そのさい、役場役所および住民などへの聞き取り調査を行い、津波の状況を調査した。その結果が左図および①～⑤に示されている。なお、特に断りのない限りここに載せる津波調査結果は夜の津波(2004年9月5日23:57発生)の紀伊半島南東沖の地震津波のものである。

①南島町神前浦吉津漁港



神前浦吉津漁港
吉津漁港では深夜0時頃、目視で1.3m位海面が上昇した。(漁師談)

この岸壁が津波で浸水した(漁師談)

②尾鷲市尾鷲地区



津波が北川を遡上した。尾鷲神社前の宮前橋までは明確に遡上しており、さらに上流の弥栄橋までは「さらさら」と遡上した。宮之上小学校の裏手までは遡上しなかった。(住民談)

天満浦では船4隻転覆(橋脚ロープが短く、音高りのように転覆していた、漁師談)
海上保安庁
三田では船3隻転覆

③尾鷲市九鬼地区



九鬼全体で5隻の船が破壊・転覆した。

下の写真の船についていた網が夫田で途中上流まで流された。網漁船の河原標高2.31m



④尾鷲市早田地区

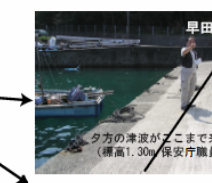


早田では1隻の船が転覆した。

早田の商店

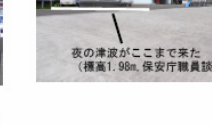


⑤紀宝町・道の駅ウミガメ公園前海岸



この赤線まで浸水(標高6.37m、網元談)

この赤線まで浸水(標高6.37m、網元談)



道の駅・ウミガメ公園

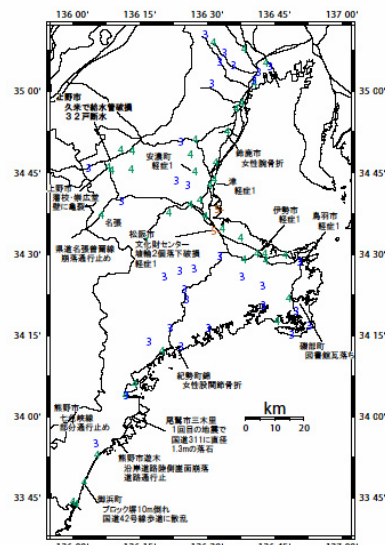


この赤線まで浸水(標高6.37m、網元談)

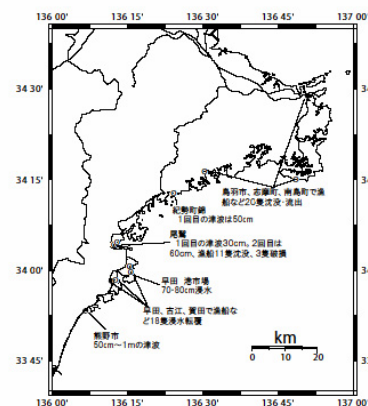
この赤線まで浸水(標高6.37m、網元談)



(2) 紀伊半島南東沖地震の三重県内の震度分布と地震被害(伊勢新聞による)



(3) 紀伊半島南東沖地震による三重県沿岸での津波被害(伊勢新聞による)



(4) 文化五年(1808)の紀伊半島沖地震とそれに伴う小津波

